

しみずの教育 ちよっといひ話

【平成30年3月号】

清水小学校

□PTA広報誌「かけはし」全道広報誌コンクール特別審査委員賞受賞

PTA広報紙「かけはし」305号（3月発行）が、全道広報紙コンクールで見事「特別審査員賞」となり、全道広報紙コンクール4年連続の受賞という快挙となりました。（昨年度までの三年間は、優秀賞を受賞）充実した内容の特集記事を創り上げたり、全体の構成を工夫したり、広報委員会の皆様の熱心な取組の賜物です。広報委員会の皆様の熱意に心からの拍手を送ります。



□おやじの会の皆さんありがとうございます

本校では、環境整備をはじめ多くの場面で「おやじの会」の皆さんが活躍しています。3月3日（土）は、6学年PTA主催「卒業を祝う会」が実施され、おやじの会の皆さんに餅つきのを企画していただきました。悪天候の中、前日から準備していただいた餅つきは大盛況。6年生の子どもたちの笑顔で力いっぱい餅をつく姿が見られました。おやじの会の皆さんは、「6年生の子どもたちがおいしそうにお餅を食べてくれたことが、とてもうれしかった」とお話されていました。



□一人ひとりの思いを込めて・・・書道条幅の学習から「四字熟語」

卒業を間近に控えた6年生が、書道で恒例の“四字熟語”に挑戦しました。12名の書写ボランティアの皆さんにご指導いただきました。

ほとんど使ったことのない太い筆にたっぷり墨を付け、一文字一文字でいねいに集中し渾身の力を込めて表現します。何度も「難しい！」と悪戦苦闘していましたが、ボランティアの方々的確なアドバイスと丁寧な指導で、どんどん上達していきました。



ご指導いただいた後は、ボランティアの皆さんに6年生の教室で一緒に給食を食べていただきました。

自分が選んだ四字熟語に卒業への思いを込めて力強く書かれた作品は、卒業式会場の体育館に掲示されます。

熱心に指導をしていただいた書写ボランティアの皆さん、ありがとうございました。

(教頭 和田 尚史)

御影小学校

5年生と年長児との交流(保小連携)

保小連携の行事として、2月9日(金)に5年生と保育所の年長児さんが交流しました。

①〇×クイズ、②大根ぬき、③手つなぎ鬼の3つのゲームを5年生がやさしい口調で説明しながら進行していました。5年生も年長児さんも、お互いに笑顔があふれる交流会となりました。



認知症サポーター学習

2月28日(水)に清水町のせせらぎ荘から村井さんと小林さんが来校され、6年生教室で認知症サポーター学習が行われました。①認知症とはなんだろう?②認知症になるとおこること③認知症の方との接し方についてパソコンを使ったプレゼンテーション形式でわかりやすく説明していただきました。子どもたちも真剣に話を聞いていて感心させられました。



(教頭 川崎 広輝)

清水中学校

春 雪

3月1日（木）から2日（金）にかけては大雪で、本校も臨休の対応をしました。

明けて、3日（土）は一転して青空。

気温も+5℃と春らしい天気でした。

学校には、除雪車によって大きな雪の山脈があちこちにできていました。



駐車場脇の雪の山脈。

右後方には、本当の山脈（日高山脈）がきれいに見えました。



重機でできないところは、やはり人力ですが、本日は陸上部が階段の雪かきをしてくれました。

陸上部は、2時間かけて階段をきれいにしてくれました。（除雪後は、体育館でバスケットボールを楽しんだとのこと。若さは素晴らしいですね。）

（教頭 伊 澤 理 紀）

御影中学校

校長 寺 島 康 博

いじめは絶対に許さない！～ピンク・シャツデー～

十勝管内での「ピンクシャツデー」活動は、平成25年に初めてイベントが開催され、今ではほとんどの市町村で企画されています。

清水町では今年の2月28日（水）を「ピンクシャツデー」とし、「ピンクシャツデーinしみず実行委員会」が中心となり全町的なキャンペー



ンを展開しました。

御影中学校では、生徒会が中心となり、ピンク色のリボンを制作し、全校生徒がリボンを身に付け、2月26日（月）から1週間「いじめ撲滅」を訴えました。また、2月28日には、「おやじの会」やPTA役員の方々もピンクのシャツなどを着用して参加し、玄関にて生徒会役員と一緒に朝の「あいさつ」と「いじめは許さない」運動を行いました。世界的に広がっている「ピンクシャツ」の取組を、御影中学校ではさらにいじめ撲滅の意識を高めるために、今後も全校で取り組んでいきます！



バイキング給食～給食センターの調理員さんに感謝～

2月27日（火）、3年生を対象にバイキング給食がありました。卒業のお祝いと9年間の学校給食を締めくくる思い出として、また、みんなで会食をするときのマナーを学ぶ場として、そして自分で選んだ食事の栄養を考える機会として実施しました。早朝からたくさんの料理を作ってくれた給食センターの栄養士さん、調理員の皆さんに感謝をしながら、楽しい時間を過ごしました。いなり寿司、焼き豚チャーハン、サネンコロ巻、サンドイッチなど28品目から選んで食べる夢のような給食でした。



薬物乱用教室～誘惑に負けない強い気持ちをもとう～

2月28日（水）、新得警察署の生活安全課の井元警部補を講師にお迎えして、薬物乱用防止教室を行いました。たばこの害についてのお話や、どのような薬物依存の現状があり、どのようにして手を出してしまうのかという内容をわかりやすく学ばせていただきました。どの生徒も、真剣に聴いていました。

今日の授業で学んだことを忘れず、誘惑に負けない強い気持ちをもってほしいと思います。



総合学科第 19 回卒業証書授与式を挙行

校長 平野道雄

春を迎える「名ごり雪」というには季節外れの大雪となった3月1日（木）、北海道清水高等学校卒業証書授与式を本校体育館で挙行了しました。来賓の方々をはじめ、たくさんの保護者の皆さまに参加いただき、厳粛な中にも心温まる雰囲気の中で 115 名の卒業生を送り出しました。

卒業生の一人一人が誇らしく顔を上げ、自信に満ちた表情やにこやかな笑顔を浮かべ卒業証書を受け取る姿や、式中、国歌、校歌、式歌をしっかりと歌う態度が印象的でした。

校長として式辞の中で、保護者や地域の方々など、すべての関係者の皆さまへの感謝とともに、卒業生には主に次のことを伝えました。

- ・様々な場面で豊かな表現力を発揮し、学校と地域を元気にしてくれたことへのお礼
 - ・早く激しい社会の変化に対応し、日々学び、成長し続け、生き抜くことへの期待
 - ・お互いが共生できる社会を築くための幸福を分かち合う気持ちで行動することのお願い
- これらは、卒業生に向けたものでありながらも、在校生に目指してほしい人間像、そして大人になった自分自身の「ありたい姿」でもあります。

また、ともに清水中出身である、現生徒会長の相澤春花さんからの「在校生の送辞」、前生徒会長である大久保珠美さんからの「卒業生の答辞」では、語っても語り尽くせないあふれ出る思い出が感動を誘うとともに、最後には今後の力強い抱負も述べられ頼もしく感じました。

来年度、本校では総合学科 20 期の卒業という節目を迎えます。これまで保護者や地域の方々にご協力とご支援をいただいておりますが、こうした節目の機会をとらえて連携を強めながら、これまで以上に保護者から信頼される学校づくり、地域に貢献できる人づくりに、本校職員一丸となって努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



「在校生の送辞」



「卒業生の答辞」

ひぐまクラブ（おやじの会）と雪遊び

2月25日（日）に、幼稚園のお父さんたちの会「ひぐまクラブ」主催による「わくわく雪遊び」が行われました。前日に、幼稚園の雪山やグラウンドにお父さんたちが階段や道をつけてくれていました。少々風もありましたが、お日様が時折顔をだし、天候に恵まれた楽しいひと時となりました。

まず初めは、「宝物さがし」です。そのあとはお父さんたちと一緒にそり遊びに興じ、ほっぺを真っ赤にしながらか喜びでした。最後は、「しっぽ取り」ゲームです。初めは子どもたちが尻尾をつけて…そのあとは、お父さんが鬼になって尻尾をつけて逃げることになりました。ところが、体重の軽い子どもの身軽さに比べ、お父さんたちが雪の中で大苦戦！！息を切らせていました。

帰りにはお土産をいただき、親子で家路につきました。子どもたちにとってお父さんやお母さんとの大切な思い出となりました。



みんなで宝探し



小学生も一緒にゲーム

こぐまクラブ修了式

2月27日（火）に「こぐまクラブ修了式」を実施し、年長児への修了証書授与式、コロタン劇「七つのお約束」、アブラハムの歌を歌いました。コロタン劇では、オリンピックで話題になったパフォーマンスを取り入れ、子どもも参加いただいたお母さん方も大喜びで楽しんでいました。最後に「お片付けゲーム」「お店屋さんカードゲーム」を行いみんなで楽しい時間を過ごすことができました。



清水町内の保育所・幼稚園では、子どもたち一人一人が交通安全を身に付け、事故に遭うことのないように、お母さん方が「こぐまクラブ」を作り一緒に取り組んでいます。幼稚園では、役員の外に全員で参加して、年間6回の活動をしています。

4月の発会式（交通安全の内容は、「雨の日の正しい歩き方」「傘の正しい使い方」）に始まり、5月（正しい信号の見方、自転車あそびの指導、車の危険性の認識）、6月（信号のない道路の渡り方、信号のある道路の渡り方、車の陰からの横断）、9月（信号のある道路の渡り方、歩道・地下道の正しい歩き方）、11月（冬道の正しい歩き方の指導、ビデオ視聴）、そして、2月に「こぐまクラブ修了式」を行っています。

第一保育所

鬼はそと、福はうち～

2月2日(金)に節分の行事が行われました。

練習をした歌を元気いっぱい歌い、踊りやゲームを楽しんだ後、豆まきの練習をしました。「鬼はそと～、福はうち～」と言いながら、元気に鬼役のお友達に豆(丸めた新聞紙)をぶつけました。

楽しく豆まきをした後、赤鬼と青鬼が登場。突然の登場に、保育者の後ろに隠れる子、勇敢に豆をぶつける子、安全ゾーンに泣きながら逃げ込む子など、様々な姿が見られました。

最後はおみやげを貰い、鬼と握手をして別れました。きっと自分の中の悪い鬼を追い払い、とっても良い子になったことでしょう。

(保育士 増谷 妙子)



食育指導のおさらい

3月6日(火)に食育指導がありました。2カ月に一回、食器の並べ方、食べ物の栄養、手洗い・うがいの仕方などをお話しています。今回は3月なので1年のまとめのお話でした。

「この野菜は、夏の野菜・冬の野菜？」というクイズを出すと、悩みながら選び、正解を発表すると、当たった子は大喜びしていました。手洗いのやり方は、年に何度かお話しているので、とても上手に行き、身につけているなど感じました。

最後に1年の成長のお話で、各クラス一番背の伸びた子を発表しました。皆で拍手をしてお祝いをし、名前を呼ばれた子は嬉しそうな顔をしていました。

4月から食育のお話をしているので、子どもたちも興味を持って話を聞き、自信を持って答えている姿が見られました。

(保育士 渡辺 慶子)

第二保育所

雪の上で追いかけてっこをしたよ！！

0. 1. 2. 3歳児、4. 5歳児に分かれて雪中運動会をしました。雪の上で、リレーや追いかけてっこ、追いかけて玉入れ、お菓子探しを楽しみました。何度転んでも頑張って立ち上がり、元気よく走る子どもたちの姿は、4月から比べると「強く大きくなったなあ」と感じるカッコいい姿でしたよ。

ひよこ組(0. 1歳児)は雪山を登ってお菓子を取りました。小さい体で一息懸命坂を登る姿がとってもかわいかったですよ。りす組、ペンぎん組(2. 3歳児)は追いかけて玉入れ





をしました。なかなかうまく入らないボールに苦戦しながらも、友達と協力してソリの中をカラフルなボールでいっぱいになりました。うさぎ組、ぞう組（4、5歳児）は友達に乗っているソリを力いっぱい引いてゴールを目指しました。最後にはもらったお菓子を食べて大満足な子どもたちでした。

寒い冬でも元気いっぱいの子どもたち。今年は寒い日が続き、きれいな雪がたくさん残っているので、まだまだ雪遊びを楽しめそうです。



（保育士 古田 琴乃）

オニが来た～！！

2月2日（金）に節分がありました。わくわく、ときどきしながら迎えた節分の日。前日から「明日は鬼が来るの？」と不安そうな子どもの姿も…。鬼が登場するまでは節分の由来や鬼の苦手な物クイズ、先生方による出し物、友だちが作った鬼のお面を鑑賞して楽しみました。



鬼からの「果たし状」が届き、読んでみると「泣き虫な子はいないか～？意地悪をしている子はいないか～？」と書いてありました。読み終わるとすぐに鬼が登場しました。子どもたちはブルブルと怖がりながらも「鬼は外！福は内！」と大きな声を出し、力いっぱい新聞紙で作った豆を投げました。退治された鬼は子どもたちに謝り、美味しいおやつをプレゼントしてくれました。一生懸命、

心の鬼も退治した子どもたちでした。

鬼からももらったおやつは鬼退治の後、みんなで仲良く食べました。

（保育士 細野 椎名）

御影保育所

元気に遊ぶさくら組の子どもたち！

暖かい日や寒い日を繰り返しながら少しずつ春が近づいてきましたね。戸外遊びが好きなさくら組の子どもたちは、「ねえ、今日は外で遊ぶ？」と毎日元気いっぱいに聞いてきます。

戸外に出ると、ソリを持ち全速力で走って雪山へ向かう子どもたち。暖かい日差しの中、汗だくになりながら、何度も何度も雪山を登っては「キャー」とソリを滑らせ楽しんでいま

した。また、スコップで雪を掘り足場を作りながら連なって周りを探索したり、雪の器を作り、その中に雪のご飯を入れて友達とごっこ遊びをしたりと一つ一つ遊びを工夫しながら楽しむ姿もありました。

遊んだ後は自分で脚絆を下げ、脱いだつなぎをハンガーにかけて乾かしています。乾いたつなぎをおにぎりの形にクルクル丸めることがなかなかできず苦戦していましたが、大きい友だちにアドバイスをもらいながら、繰り返し練習していくことでコツをつかんだのか、今では手伝ってもらうことなく最後まで自分の力で丸めることができるようになりました。

次は教える側になれるかな？子どもたちの成長を楽しみにしています。



修了式に向けて

3月24日（土）の修了式に向け本格的に練習が始まりました。

修了式練習になるといつも元気いっぱいの年長児が真剣な表情に変わり、曲に合わせて入場をしたり、修了証書授与や歌の練習をしたりしています。そんな子どもたちの大きくなった後ろ姿を見ては、嬉しい気持ちと同時に寂しさがこみ上げてきます。

お世話になった年長児を気持ち良く送り出せるよう、在所児も一緒に練習をしています。

年長児の姿を見て憧れの気持ちを持ち、真似していた在所児の子どもたち。春からはまた一つお兄さん、お姉さんになりますね。年長児との思い出の数々を胸に、笑顔いっぱいの姿で年長児を送ることができたらと思います。



（保育士 福田 沙彩）

教育委員会

1年間のご愛読に感謝

今年度も町内の幼稚園や保育所、小・中学校、高等学校の保育・教育活動の様子を「ちょっといい話」として紹介させていただきました。

この「ちょっといい話」は、平成24年度から清水町教育委員会ホームページでも配信させていただいております。開かれた保育所・幼稚園・学校の一環として、広く町内外に保育・教育実践を公開するものであります。

清水町の教育は、教育理念を「心響」、実践指標を“しみず「教育の四季」”として、学校、家庭、地域が連携して、町民総ぐるみで感性あふれ表情豊かな子を育てることにあります。

幼保小中高の接続と連携を縦軸に、家庭、地域、関係機関との連携を横軸とした「学びの環境づくり」に努めています。少人数学級や幼保小中高の連携、各種ボランティア活動等の取組が、この「ちょっといい話」の中に見ることができると思います。お陰様で地域の皆様方の温かなぬくもりに包まれ、確実に子どもたちは成長しています。

今後も、各保育所・幼稚園・学校のご協力のもと、「ちょっといい話」を皆様方に提供していきたいと考えております。

ご高覧の上、ご感想やご意見がございましたら、下記メールアドレスにお寄せいただければ幸いです。

Eメール：sidoukan@town.shimizu.hokkaido.jp

(教育指導幹 清水彦一)



子育て教育の四季

家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで「12の窓」から
感性あふれ、表情豊かな子を育てる

春～さわやかな風の中で 元気に力強く

家庭・学校・地域

今月の取組

家庭は、家族の一員

お手伝い

地域は、笑顔で声掛け

こんにちは